

平成27年度 公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会事業報告

I 公益事業

1 家庭科教育に関する調査研究

(1) 進路調査研究委員会による進路状況調査・研究

全国の家庭に関する学科の進路状況を経年的に調査・分析し、大学・短期大学・専門学校・企業等への要望に生かすとともに、資料としてまとめて発表し、主として家庭学科設置校の校長や教員の進路指導に資することができた。

期 間：7月1日から7月31日調査、6月18日（木）・9月14日（月）委員会開催

内 容：全国の家庭学科等設置校対象に卒業生の進路状況調査とその研究

(2) 技術検定調査研究委員会による調査研究

全国の高等学校における家庭科技術検定の社会的評価を高めて振興を図るために、実施校等から意見を聴取し、今後の家庭科技術検定の改善・充実に生かす。

期 間：7月13日（月）・8月31日（月）・11月27日（金）・1月20日（水）委員会開催

内 容：家庭科技術検定（被服製作・食物調理）と保育技術検定の実施上の課題と社会的評価を高めるための方策について調査研究

2 講習会・講演会・研究会

(1) 全国高等学校家庭科実践研究会（三重大会）

全国の家庭科教員が参加し、開催県の優れた実践事例の発表や地域の特色を生かした講師を招聘して講演・実習・見学等を行い、教員の資質向上を図り、家庭科教育の一層の充実・発展を図った。

期 日：平成27年7月28日（火）・29日（水）

会 場：三重県総合文化センター、男女共同参画センター 他

参加者：全国の高等学校の家庭科教員等 約250名

(2) 全国高等学校家庭科技術検定研究大会（熊本大会）

家庭科技術検定の円滑で適正な実施のため、被服製作・食物調理技術検定担当の全国専門委員の家庭科教員が一堂に会し、技術検定の評価方法や運営の在り方について意見交換・研究協議をし、併せて、監修者や文部科学省等による指導・講評を得て、家庭科における被服・食物の実技指導を中心とした教育の在り方を学び、教員の資質向上、家庭科教育の充実・発展を図った。

期 日：平成27年8月6日（木）・7日（金）

参加者：全国の家庭科教員等 約300名

会 場：KKRホテル熊本

(3) 全国高等学校保育技術検定全国専門委員会

保育技術検定の円滑で適正な実施のため、保育技術検定全国専門委員と1・2級受検者の多い学校等の家庭科教員等が一堂に会し、技術検定の評価方法や運営の在り方について意見交換・研究協議し、併せて、監修者や文部科学省等による指導・講評を得て、家庭科における保育の実技指導を中心とした教育の在り方を学び、教員の資質向上、家庭科教育の充実・発展を図った。

期 日：平成27年6月5日（金）

参加者：全国の家庭科教員等 約120名

会 場：東京 アルカディア市ヶ谷

(4) 全国技術検定代表理事会

各都道府県の検定代表理事が、技術検定の円滑な実施及びその推進等について協議を行った。

期 日：平成27年5月21日（木）

参加者：各都道府県の検定代表校長他 約40名

会 場：事務局

3 関係団体と連携した機関誌「家庭部会報」の刊行

調査研究報告、講習会・研究大会報告、表彰結果、技術検定受検・合格者の動向など振興会事業について記録・編集し、全国の高等学校等に配布して家庭科の授業改善や学校経営に資することができた。

期 日：7月、1月 年2回発行

4 家庭科に関する各種の検定の実施

高等学校等で家庭に関する科目を履修する全国の高校生等を対象に、高等学校学習指導要領に基づき、家庭科に関する知識・技術など、その学習の到達度を測る目的で検定を実施した。このことにより、生徒の目的意識が明確になり、知識・技術の定着のみならず、学習意欲も高まり、ものごとに対するチャレンジ力や段取り力を高めることができた。また、教員にとっても客観的な技術の評価が確立され、指導と評価の一体化を期すことに有用であった。

この検定は、全国一斉に同一問題で実施し、できるだけ多くの生徒に受検の機会を確保するため、受検料は低価格に設定している。受検者は高校生だけでなく、特別支援学校や高校の教育課程をもち高等学校と提携している専修学校生徒も受検できるとともに、卒業後1回は受検できる制度を擁する。

なお、指導要項として、被服製作・食物調理の技術検定の実技試験の指導のための教師用テキストを作成し、毎年改訂し配付している。

<技術検定の実施日程>

(1) 平成27年度 被服製作・食物調理技術検定

○第41回検定実施期間

実技試験 4級～1級：5月16日～8月31日

筆記試験 3級～2級：6月26日 1級：7月10日

○第42回検定実施期間

実技試験 4級～1級：9月12日～1月24日

筆記試験 3級～2級：10月30日 1級：11月13日

(2) 平成27年度 保育技術検定

○第29回検定実施期間

実技試験 4級～1級：5月16日～8月31日

筆記試験 2級～1級：7月3日

○第30回検定実施期間

実技試験 4級～1級：9月12日～1月24日

筆記試験 2級～1級：11月6日

5 保育技術検定 研究評価における「講師派遣制度」

平成5年に発足した保育技術検定は、家庭学科はもとより普通科等の受検者が拡大し、年々その数は増加している。保育技術検定は学校単位で行われていることから、充実した運営を図り、評価基準の一層の理解と適正化を確保するため、都道府県等を単位に実施する研修会等に2名程度の講師を派遣する「講師派遣制度」を平成23年度より実施している。

本年度は大分県・鹿児島県の2県が本制度を利用した。

6 家庭科技術検定一元化に向けての取り組み

平成27年度から家庭科技術検定試行県5県による試行が始まった。家庭科試行県連絡協議会を年2回開催し、課題や課題解決方策等について情報交換や協議を行った。

○参加者：家庭科技術検定試行県の検定代表理事・家庭科教員、家庭科技術検定役員等 約20名

○会場：事務局

○期日：第1回 平成27年9月17日(木)、第2回 平成28年2月23日(火)

7 関係団体と連携した家庭科教育の振興に寄与した者の表彰

(1) 教員表彰

高等学校において家庭科教育に従事した教員で、技術検定委員やその他家庭科教育に功績が顕著な者の表彰を、家庭部会と連携して行い、表彰状と記念品を授与し、機関誌に氏名を掲載する予定。

(2) 被服製作・食物調理技術検定 3種目1級合格者「三冠王」の表彰

一人の生徒が被服製作和服1級、洋服1級、食物調理1級のすべてに合格することは、たいへんな努力を必要とするので、その取得者を「三冠王」と称し、表彰状並びに記念品を授与するとともに、機関誌に表彰者氏名を掲載し紹介する予定。この顕彰は、昭和57年度から実施している。

表彰者数：年間 1,000名程度 時期：2月

(3) 被服製作・食物調理技術検定3種目1級と保育1級合格者「四冠王」の表彰

被服製作和服1級、洋服1級、食物調理1級と、保育技術検定1級の合格者を「四冠王」と称し、そのたゆまぬ努力を称え、表彰状並びに記念品をもって表彰するとともに、機関誌に表彰者氏名を掲載し紹介する予定。この顕彰は、平成18年度に誕生した。

表彰者数：50名程度（18年度7名、19年度14名、20年度31名、21年度46名、22年度48名、23年度73名、24年度100名、25年度40名、26年度42名、27年度47名）
時 期：2月

II 収益事業

1 技術検定にかかわる教材の作成・販売

当公益財団の技術検定を円滑に実施するため、生徒用、教師指導用の学習支援のための各種教材を作成・販売した。

(1) 問題集

被服製作・食物調理技術検定を受検する生徒の自学自習並びに教師の指導用に資するため、家庭科問題集「基礎編」、「被服編」、「食物編」を作成し販売した。「基礎編」は3・4級、「被服編」・「食物編」は1・2級に対応した「筆記試験」のための学習支援教材。

(2) 保育技術検定過去問題集

保育技術検定を受検する生徒や教師指導のための学習支援教材として1・2級用筆記試験の「過去問題集」を作成し販売した。

(3) 型紙

3級用被服製作(和服・洋服)技術検定における実技試験のための型紙を制作し販売した。技術検定の内容変更に伴って改訂するが、平成14年度以降変更していない。

(4) 保育技術検定用のDVD

保育技術検定を受検する生徒や教師指導のための学習支援教材として、保育技術検定4級、3級用の実技試験の教師指導のためのDVDを販売した。

2 高等学校家庭科の指導にかかわる教材の作成・販売

高等学校の家庭科教育の振興・充実を目的としている当公益財団では、学校や教師、関係機関の要望や課題等を踏まえながら、家庭科の教育活動や授業展開に効果的な副教材を作成し、販売している。

(1) ライフノート

ライフプランノート（学習ノート）を刷新し、新学習指導要領に対応した高等学校の教科指導の展開に役立つライフノートを平成26年度から販売している。

(2) 私たちのエチケット

高等学校の家庭科の授業やホームルーム指導などにおける生活文化の学習やマナー教育が重要になっている。マナーに関する実習等の指導に生かす副教材を、出版社と提携して作成し販売しているもので、印税収入として扱っている。

3 その他の事業

(1) 駐車料収入

1階のスペースを駐車場とし、近隣の企業等に貸し出した。

(2) 家庭部会業務委託

全国高等学校長協会家庭部会から業務委託され、当公益財団職員が家庭部会の様々な事業を分担・担当した。

(3) 会議室収入

3階の会議室を東京都公立高等学校長協会事務局に貸し出した。